

# EU Indicators

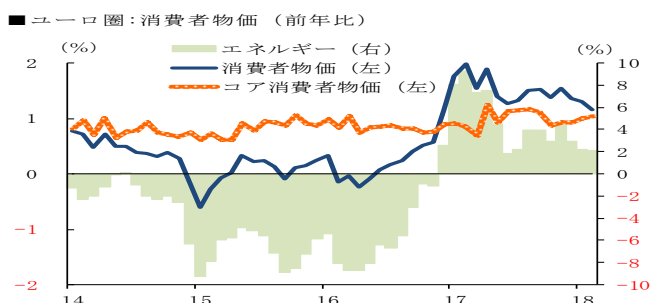
## 欧州経済指標コメント：2月ユーロ圏消費者物価(速報)

発表日：2018年2月28日(水)

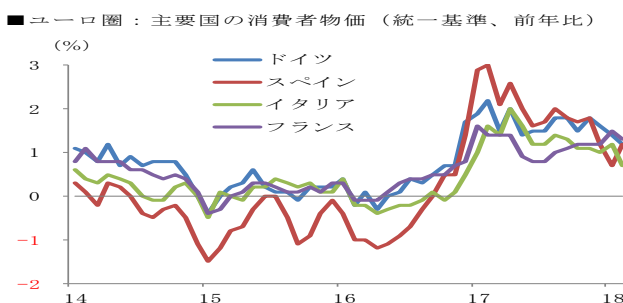
～向こう数ヶ月はイースター要因に注意～

第一生命経済研究所 経済調査部  
 首席エコノミスト 田中 理  
 03-5221-4527

- 2月のユーロ圏の消費者物価の速報値は前年比+1.2%と前月の同+1.3%から上昇率が鈍化。昨年11月の同+1.5%をピークに鈍化傾向が続いている。速報段階で入手可能な内訳は、コア物価（前月：同+1.0%→今月：同+1.0%）が前月と同じ伸び率（四捨五入前では同+1.000%→同+1.047%と僅かに加速）、エネルギー価格（同+2.2%→同+2.1%）が前月並みの上昇率となるなか、食料・アルコール飲料・たばこ価格（同+1.9%→同+1.1%）の落ち込みがヘッドラインの計数を押し下げた。前年同月の食料品価格の上昇率が急加速した反動により、今月の計数は低めに出やすかったことが影響。来月以降はこうした影響が剥落し、同じく前年同月の裏で低めに出やすかったエネルギー価格の上昇率加速とともに、物価の押し上げに働くことが見込まれる。
- 発表済みの国別計数（何れもEU統一基準）は、ドイツ（同+1.4%→同+1.2%）、フランス（同+1.5%→同+1.3%）、イタリア（同+1.2%→同+0.7%）の上昇率が鈍化した一方、スペイン（同+0.7%→同+1.2%）が加速。詳細な内訳は確報を待たなければならないが、1月の確報値ではパッケージ旅行を中心に、ドイツのコア物価が下振れした一方、フランスとイタリアのコア物価が上振れ。今月は正反対の結果となった模様で、結果としてユーロ圏全体のコア物価は前月並みにとどまった。目先は昨年イースター休暇時期がずれた関係でパッケージ旅行価格が大きく変動するとみられ、3月のコア物価が上振れ、反対に4月が下振れしよう。こうした攪乱要因を除けば、コア物価は緩慢ながら底入れ傾向を確認する公算が大きい。今月のヘッドラインを下押しした食料品やエネルギーの裏も剥落することから、インフレ率は徐々に上昇率が再加速する展開が予想される。



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く  
 出所：Eurostat



注：イタリアの2018年1月値は未発表（2月2日に発表予定）  
 出所：Eurostat

### ユーロ圏の消費者物価 (%)

	2017				2018											
	1Q	2Q	3Q	4Q	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
消費者物価 (前期比)	0.7	0.1	0.2	0.4	-0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	-		
消費者物価 (前年比)	1.8	1.5	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.5	1.5	1.4	1.5	1.4	1.3	1.2		
コア消費者物価 (前期比)	0.8	1.1	1.2	0.9	0.9	1.1	1.2	1.2	1.1	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0		
コア消費者物価 (前年比)	2.0	1.5	1.6	2.2	1.5	1.4	1.4	1.4	1.9	2.3	2.2	2.1	1.9	1.1		
食料/アルコール/たばこ (前期比)	2.1	1.3	1.4	2.2	1.4	1.2	1.1	1.2	1.8	2.4	2.2	1.9	1.7	-		
食料 (前年比)	0.6	0.6	0.7	0.7	0.9	0.6	0.8	0.7	0.6	0.7	0.6	0.9	1.5	-		
アルコール (前期比)	2.7	3.2	3.2	3.7	3.0	3.1	3.2	3.3	3.2	3.3	3.7	4.0	4.0	-		
アルコール (前年比)	8.2	4.6	3.4	3.5	4.5	1.9	2.2	4.0	3.9	3.0	4.7	2.9	2.2	2.1		
エネルギー (前期比)																
エネルギー (前年比)																

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であると限りません。